

●令和7年度野洲市地域学校協働活動推進（教員の働き方改革推進）目標

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	市内の教職員の約38%超が、月45時間以上の時間外勤務を行っており、教職員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	地域の協力を経て、地域で担っていただけるところを協議し、取り組むことにより、教職員の業務負担軽減を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会で教職員の負担軽減について話し合っていたが、地域学校協働活動推進員が地域ボランティアを募り、学校で担っていた業務を地域で担える部分を増やし、教職員の負担軽減を行う。</li> <li>・推進員は学校と地域の連絡調整等を担い、教職員でなくても担える業務を教育課程内外、校内で実施。教職員の業務負担軽減を測る。</li> <li>・地域に呼びかけ、教職員が下校時付き添いを行っていた部分は地域住民で行うように取組を進める。</li> <li>・総合的な学習の時間の地域学習に関すること、職場体験学習に関すること、地域学校協働活動推進員が企画・運営に携わり、教職員の負担軽減を目指す。</li> </ul>	学校・家庭・地域の役割を分担し、取り組むことにより、地域との協働が進み、教職員の業務負担を軽減する。	超過勤務時間が月45時間を超えている教職員の割合	38	%	36	38	<p>02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。</p> <p>昨年と同様の数値となった。各学校運営協議会で「教職員の時間外勤務が多い」ことを課題として取り上げ、解決方法について熟議をおこなった。状況は学校運営協議会で共有できているが、数値としては現れなかった。具体的な取り組みとして、地域学校協働活動で校園の環境整備作業を計画的に行ったり、ゲストティーチャーなど外部団体との連絡を可能な範囲で地域コーディネーターが行ったりして、教職員の負担軽減を図った。次年度は「教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を学校運営協議会で承認することで、一層共有し、具体化を図る。</p>